

《共通基礎科目 教養教育科目》

科目名	アジアの子ども文化				
担当者氏名	山田 正人				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択必修	開講年次・開講期	1年・春期

《授業の概要》

異文化理解&多文化共生をテーマにした資料や文献を読みながら、その内容理解に関して、受け身ではなく積極的に授業参加していけるように、グループワークやワークショップ形式の授業を通じて、子どもについて理解を深める。

《授業の到達目標》

本講座は、「子どもの権利条約」を軸にしなが、アジアの様々な国の子どもの実情を理解し、子ども達の持つ文化的側面を理解することを目標とする。日本の子どもの貧困率が6人に一人の割合であるというデータがある。アジア諸国の子どもの教育課題などの事例を参考にしながら、子どもにとってより望ましい子ども文化を考察していく。

《成績評価の方法》

平常点（毎回の振り返り用紙）40% 課題の提出物（プリント・レポート類）40%
グループプレゼンテーション 20%

《テキスト》

教科書は指定しない。

《参考図書》

その都度、プリントなどを配布。また、授業内で指示した本を課題図書として、教案づくりなどに活かす。

《授業時間外学習》

授業内での発表のために、時間外でのグループ作業が必要な時もある。

《備考》

プレゼンテーションなどをする予定である。積極的に参加する意思のない生徒の参加を望まない。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	オリエンテーション	年間計画 評価方法 人間関係トレーニング 課題図書之提示など
2	子どもの権利条約を学ぶ	ユニセフのカードを使い、様々な国の子どもの状況を学ぶ
3	児童労働について	フリーザチルドレンの創設者のクレグのDVDを鑑賞。グループワーク。
4	100人村ワークショップ	世界を100人の村にしてみると、何がわかるか？
5	難民問題	[難民ワークショップ]を通して、様々な国の難民について学ぶ
6	地雷問題	カンボジアでの寺ルネッサンスの活動を通して地雷の問題を探る
7	貿易ゲーム	様々な国に分かれてみて、富の不公平さに気づく。
8	食糧からみた世界	いろいろな家庭の食糧を見ることで、その国の背景を探る
9	地域にある子供の問題	身の回りの地域を観察し、今の子どもたちの問題を知る
10	子どもをサポートしている団体に学ぶ	アジア協会、テラルネッサンス、PHDなどの団体を調べる。
11	絵本から学ぶ(1)	いろいろな国の絵本を、教材化する 教案づくり 発表
12	絵本から学ぶ(2)	いろいろな国の絵本を、教材化する
13	絵本から学ぶ(3)	いろいろな国の絵本を、教材化する
14	子どもの教育はどうあるべきか	グループ討議 アクションプランを作成
15	子どもの教育はどうあるべきか	発表